

医学研究センター

医学研究センター

片桐 岳信
(センター長)

1. 構成員

◇センター長

片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : センター長 (任期 : R9.7.31)

◇副センター長

小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 副センター長 (任期 : R9.7.31)

◇部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)

※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 研究主任部門 (任期 : R8.3.31)

※片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : 共同利用施設運営部門 (任期 : R8.3.31)

堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) : 研究支援管理部門 (任期 : R8.3.31)

三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (任期 : R8.3.31)

三輪 尚史 (MIWA, Naofumi) : フェローシップ部門 (任期 : R8.3.31)

椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : 研究評価部門 (任期 : R8.3.31)

◇副部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)

百瀬 修二 (MOMOSE, Shuji) : 研究主任部門 (任期 : R8.3.31)

下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 研究主任部門 (任期 : R8.3.31)

横田 和浩 (YOKOTA, Kazuhiro) : 研究主任部門 (任期 : R8.3.31)

横尾 友隆 (YOKOO, Tomotaka) : 共同利用施設運営部門 (任期 : R8.3.31)

※三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (DNA分野) (任期 : R8.3.31)

米田 竜馬 (YONEDA, Ryoma) : 安全管理部門 (DNA分野) (任期 : R8.3.31)

村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 安全管理部門 (感染分野) (任期 : R8.3.31)

奥田 晶彦 (OKUDA, Akihiko) : 安全管理部門 (薬物・廃液等環境分野) (任期 : R8.3.31)

森 隆 (MORI, Takashi) : 安全管理部門 (動物分野) (任期 : R8.3.31)

西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 安全管理部門 (RI分野) (任期 : R8.3.31)

徳元 康人 (TOKUMOTO, Yasuto) : 研究評価部門 (任期 : R8.3.31)

◇ランチ長 (医学研究センター運営会議規則第3条3号構成員)

※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 毛呂山ランチ担当 (任期 : R8.3.31)

竹下 享典 (TAKESHITA, Kyousuke) : 総合医療センターランチ担当 (任期 : R8.3.31)

長谷川幸清 (HASEGAWA, Kosei) : 国際医療センターランチ担当 (任期 : R8.3.31)

※下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 保健医療学部ランチ担当 (任期 : R8.3.31)

※は重複構成員…計18名

◇オブザーバー

竹内 勤 (TAKEUCHI, Tsutomu) : 学長

森 茂久 (MORI, Shigehisa) : 副学長, 医学部長

高橋 健夫 (TAKAHASHI, Takeo) : 副学長

千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : リサーチアドミニストレーションセンター センター長

小野 弥子 (ONO, Yasuko) : リサーチアドミニストレーションセンター 特任准教授 (R7.7.1着任)

菅原 哲雄 (SUGAHARA, Tetsuo) : リサーチアドミニストレーションセンター 講師

佐藤 勝茂 (SATO, Katsushige) : リサーチアドミニストレーションセンター 課長

町田 早苗 (MACHIDA, Sanae) : 医学研究センター 客員准教授

別所 和博 (BESSHO, Kazuhiro) : 医学研究センター 助教

福田枝里子 (FUKUDA, Eriko) : 医学研究センター 助手

◇事務局

下田 裕子 (SHIMODA, Yuko) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課 課長

佐藤 瀬奈 (SATO, Sena) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課

2. 目的・目標

医学研究センターは、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規定第2条に則り、本学の医学研究を円滑かつ効果的に、教育研究上の目的を達成するための基盤整備を図るとともに、当該研究活動に必要な企画立案、管理運営その他の研究支援を統括・推進し、もって本学の研究活動の質的向上、および研究成果の社会への還元に資することを目的とする。

今年度も、本学の研究活動の向上を目指して、全学的なソフト面とハード面での支援を充実させる。また、リサーチアドミニストレーションセンターと協力し、公的競争的研究資金として科研費（文部科学省、日本学術振興会）の申請支援も充実させる。

医学研究センターの目的を達成するために、以下に示す6つの部門で構成され、各部門が異なる視点から本学の研究を支援する。

- 1) 研究主任部門：基本学科と医学研究センターの情報共有に関わる。
- 2) 共同利用施設運営部門：各種共同利用施設の運営に関わる。
- 3) 研究支援管理部門：外部資金獲得の支援や学内グラントに関わる。
- 4) 安全管理部門：DNA、感染、薬物、環境、動物、RI など、研究活動における安全管理に関わる。
- 5) フェローシップ部門：大学院生以上助手未満への経済的支援に関わる。
- 6) 研究評価部門：研究活動の内部評価や外部評価に関わる。

各部門内で会議を適宜開催し、毎月1回、全キャンパス両学部から選出された構成員からなる医学研究センター運営会議を開催して、全体の活動を共有している。運営会議の内容は、教員代表者会議と保健医療学部教授会で報告され、本学全体に共有される。

3. 活動実績

令和7年度は、各部門において以下のような活動を行った（それぞれの詳細は、各部門の活動報告を参照）。

- 1) 研究主任部門：各基本学科の研究主任メーリングリストを更新し、研究主任を介した連絡体制を構築した。
- 2) 共同利用施設運営部門：原則的に毎月、共同利用施設運営部門会議、および医学部中央研究施設運営会議をそれぞれ開催し、研究機器や研究設備を成否・充実させるための話し合いを行った。
- 3) 研究支援管理部門：リサーチアドミニストレーションセンターと共に、科研費アドバイザー制度を始めとする文部科学省科研費申請支援を検討・実施した。論文剽窃検知ソフト iThenticate の運用・管理を担当した。令和7年4月23日に開催した令和7年度学内グラント選考委員会において、各課題の集計等を担当した。
- 4) 安全管理部門：部門内の5分野でそれぞれ活動を行った。DNA分野では、組換えDNA使用実験に関する審査・承認を行い、講習会を実施した。感染分野は、病原体等取扱申請書を審議し、BSL2実験施設の査察を行った。また、病原性微生物の保有状況、BSL2、BSL3の保有状況を確認し、文部科学省へ報告した。薬物・廃液等環境分野では、令和7年度研究用麻薬・向精神薬に関する調査・報告を行うと共に、実験廃液と廃棄物の処分を専門業者に依頼した。動物分野では、本学動物実験委員会のあり方の見直しを行うと共に、動物実験計画書の審査・承認を行った。RI分野では、令和7年度の新規および継続RI取扱希望者を対象とした教育訓練を実施した。
- 5) フェローシップ部門：2026年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金を募集・選考し、その結果を上程した。
- 6) 研究評価部門：研究業績データベースシステムを管理・運用し、学内の各部署への情報提供、新世代研究基盤リサーチマップ（researchmap）とのデータ交換を行った。令和8年3月現在、本システムには医学部と保健医療学部をあわせて1,442名の研究者が登録されている。

- 7) 令和7年度は、医学研究センター創立20周年となった。そこで、学長と歴代センター長の寄稿、各部門の役割と主な活動記録をまとめた「医学研究センター創立20周年記念誌」を発行し、学内および学外に配布した。さらに、創立20周年記念シンポジウムとして本学全教職員・学生を対象に、2025年11月7日（金）カタロスタワー クロード・ベルナルホールにおいて、竹内学長による「医学研究のすゝめ」を開催した。

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

令和7年度も、本学の研究活動の向上と研究成果の社会への還元を目指して、全学的なソフト面とハード面での研究支援を概ね計画通り実施できた。しかし、一部はさらなる検討、対応が必要であると考えられる。

前年度の改善計画に基づき、全学的な研究連絡の目的で各基本学科の研究主任メーリングリストを更新し、研究主任宛に一斉通知を行う体制を構築した。これにより、各基本学科の研究主任と双方向の連絡体制が整えられた。今年度は、学内グラント受賞者による成果発表を11月開催のオール埼玉医大研究の日におけるポスター発表とすることで、学内グラント受賞者の多くに成果発表の機会を提供した。文部科学省補助金への申請など、全学的な視点で共同利用研究機器の設備を進める体制を構築できた。前年度、科研費の採択率が大幅に低下したことから、科研費アドバイザー制度の充実などの対策を行った結果、令和8年2月発表の令和8年度科研費採択率は約32%と過去最高となった。計画通り、研究計画の安全管理に関して審議・承認を行った。計画通り、埼玉医科大学私費外国人留学生奨学金候補者を選考した。計画通り、研究業績データベースを管理・運用し、人事考課やresearchmapを介した研究評価に利用できた。

4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

次年度は、本学研究組織の大幅な改組が予定されており、医学研究センターとリサーチアドミニストレーションセンター、および、研究統合推進センターが1つの研究統括センターとなる予定である。これに伴い、医学研究センターの6部門は、研究統括センターに設けられる研究公正部門、研究推進部門、研究基盤部門、および附置研究所部門のいずれかに再編される。新体制への移行期間においても、各部門の役割に途切れが生じないように努める。本学における研究に関する最上位の研究戦略会議と連携し、全学的な研究力の向上に努める。

医学研究センター

研究主任部門

小谷 典弘
(部門長)

1. 構成員

部門長 小谷 典弘 (KOTANI Norihiro) : 医学部薬理学: 教授 (任期: R9.7.31)
副部門長 下岡 聡行 (SHIMOOKA Toshiyuki): 保健医療学部医用生体工学科: 教授
横田 和浩 (YOKOTA Kazuhiro) : 大学病院リウマチ膠原病科: 准教授
百瀬 修二 (MOMOSE Shuji) : 総合医療センター病理部: 教授
部門員 吉川 圭介 (YOSHIKAWA Keisuke): 医学部薬理学: 准教授
医学部の全基本学科及び保健医療学部の各学科研究主任

2. 目的・目標

本部門は、埼玉医科大学医学研究センター規程第3条により構成され、第9条に則り、研究現場とセンターとの密な連絡を保つための活動を行うことを業務としている。各所属部署の研究業務の責任者である研究主任を部門員とし、研究関連情報を収集・発信し、所属部署での周知徹底を図る。また、学内での共同研究を推進できるよう体制整備に努め、支援活動を行う。

3. 活動実績

(1) 研究主任名簿の管理

人事課からの情報を基に、研究主任名簿の更新を毎月1回実施し、研究主任メーリングリストに反映させる。

(2) 研究主任メーリングリストの管理

全学の研究主任に即時に連絡・情報発信ができるように、研究主任メーリングリストを作成し管理している。下記の研究主任メールによる研究情報の発出のほか、他部署より研究関連情報の発出依頼があった場合にも対応する。

(3) 研究主任メールの発出・管理

毎月1回、全学の研究主任に向けて研究関連の情報(例: 医学研究センター運営会議議題内容で重要な情報)を研究主任メーリングリストを通じて発出する。保健医療学部においては、教授会にて直接伝達する。

<2026年3月発出例>

- 1) 「中央研究施設利用に関する調査のお願い」および「私学助成金を利用した研究機器・設備の設置希望調査」へのご協力の御礼
- 2) 新年度からの「研究統括センター」の詳細について
- 3) 2026年度の科研費の採択結果について
- 4) 2026年度研究マインド支援 Grant 募集について
- 5) 研究ポイントの新規ポイント対象項目の追加について

(4) SMU Research Link メーリングリストの管理

全学研究者間での研究関連情報の直接共有を目的とした学内メーリングリスト「SMU Research Link」を11月に開設した。研究手法に関する質問や研究機器の共用、共同研究の募集など広く情報交換できる学内メーリングリストで、本学の教員・職員はどなたでも登録できる。このメーリングリストの管理および規約違反がないかの確認を行っている。

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

学内 Grant 受賞者成果発表会は「オール埼玉医大研究の日」のポスター発表内に組み込まれたため、今年度は開催を見送った。引き続き学内研究者への情報発信に力を入れており、月1回の研究主任宛の情報提供の場として「研究主任メール」を新設した。また、研究者同士が活発に意見交換を行うことを目的として、「SMU Research Link」と呼称するメーリングリストを新設した。230人を超える学内研究者が登録しており、常に意見交換が可能な環境を整備した。

4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

今後は、全学規模で行われている「オール埼玉医大研究の日」などとも連携して、多くの学内研究者に研究情報の発信を行っていく。特に「研究主任メール」「SMU Research Link」を通して、研究主任はもとより、学内研究者の横のつながりについても関係を構築していく。また、大学組織からの情報発信として、医学研究センター運営会議の議事内容を中心に研究主任から学内研究者への情報の流れを恒常化させ、本学の研究の発展のために尽力していく。

医学研究センター

研究支援管理部門

堀内 大
(部門長)

1. 構成員

部門長 堀内 大 (HORIUCHI Yutaka) : 医学部 微生物学 : 准教授 (任期 : R8.3.31)
部門員 森 隆 (MORI Takashi) : 総合医療センター 研究部 : 教授
小谷 典弘 (KOTANI Norihiro) : 薬理学 (医学研究センター) : 教授
前田 智也 (MAEDA Tomoya) : 国際医療センター 造血器腫瘍科 : 准教授
塚本 翔 (TAUKAMOTO Sho) : ゲノム基礎医学 : 講師
山本 梓司 (YAMAMOTO Shinji) : 保健医療学部 臨床検査学科 : 講師
戸叶美枝子 (TOKANO Mieko) : 微生物学 : 講師
福田枝里子 (FUKUDA Eriko) : 医学研究センター : 助手

2. 目的・目標

研究マインド醸成, 学内グラント活用, 学外研究費獲得の推進, 研究成果の管理, リサーチアドミニストレーションセンターとの連携による研究倫理の順守呼びかけなどの活動を目的とし, 学内研究者の研究活動の健全な実施をサポートすることを目標とする。

3. 活動実績

①学内グラントと研究奨励費の助成

2025年度学内グラント募集では, 丸木記念特別賞4件, 科研費申請支援グラント22件, 計24件応募があった。分野別の複数選考委員による予備審査の後, グラント選考委員会が開催され, 丸木記念特別賞2件, 科研費申請支援グラント20件 (科研費申請支援A・80万 : 17件, 科研費申請支援B・60万 : 3件) の計22件の研究テーマが採択された。学内グラント採択課題が翌年, 翌々年度に科研費採択 (研究テーマが直接関連していることが条件) の場合に対象となる科研費採択奨励費 (20万円, 購経由使用, 経費報告書必要なし) は本年度は応募がなかった。

②科学研究費獲得状況の把握

2025年度の科研費採択結果は, 申請総数179件に対して新規採択39件 (採択率21.78%), 採択総額137,900千円であった。過去2年間と比べると, 申請総数は微増したものの, 採択率, 採択総額は減少した。

③剽窃検知ソフト iThenticate の運用

論文作成では意図せず剽窃とならないように注意が必要である。近年の論文デジタル化とインターネット普及を背景に平成25年施行の博士論文オープンアクセス化 (公表義務) に伴って現在までに国内の半数近くの医学部を有する大学に導入されている剽窃検知ソフト iThenticate の運用を, 研究マインド支援グラント (共通部門研究費) を用いて, 平成29年度から30年度にかけて試験的に運用を始めた。現在は, リサーチアドミッションセンターからの申請により, 大学経費からの支出で運用されている。なお, 2019年度から大学院学位審査の際の学位論文の提出にあたって, 本ソフトを使用した検知を実施することが義務化された。

④科研費アドバイザー制度

2020年度より, 科研費採択率の向上を目指し, リサーチアドミニストレーションセンターとの共同で, 科研費の全種目を対象とした新しい科研費アドバイザー制度を運用している。2024年度は, 科研費審査委員や大型競争的研究資金獲得経験のある研究者を中心とした教員がアドバイザーとして登録され, 利用者の研究計画調書を個別に添削した。利用件数はのべ72件で, 種目の内訳は若手研究23件, 基盤研究 (C) 45件, 基盤研究 (B) 2件, 研究活動スタート支援2件であった。

7月9日には, 「今年度の科研費申請に向けた講習会」を Zoom ミーティングで実施した。続いて, 7月25日には, 科研費

応募初心者を対象とした「～初めて申請してみようかな～」を Zoom ウェビナーで実施した。これらの受講者アンケートでは、判りやすく役に立ったなどの回答を得た。

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

学内グラントと研究奨励費の助成は、例年通り、問題なく実施された。前年度と同じく、科研費の申請総数・率、採択率、採択総額の向上を目指して、科研費申請支援グラントでは、助成に加えて科研費アドバイザーによる研究計画調書のブラッシュアップを行うようにした。剽窃検知ソフト iThenticate の使用数も増え、益々重要度が上がっている。

4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

学内グラントに関しては、今後もグラント選考委員会と連携しながら、守秘義務を遵守して公正な選考が継続されるよう努めていきたい。剽窃検知ソフト iThenticate に関しては、大学組織・研究者個人の信用にかかわる重要な問題として、今後も啓蒙活動を継続する予定である。「科研費アドバイザー制度」に関しては、申請数が増加したことから、次年度も引き続き、効果的で利用しやすい制度に発展させていく。これらの制度を教員に利用していただき、本学の科研費申請数・申請率・採択率のさらなる向上につなげたい。

医学研究センター

共同利用施設運営部門

片桐 岳信
(部門長)

1. 構成員

部門長	片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu)	: 中央研究施設, ゲノム基礎医学: 教授 (任期: R8.3.31)
副部門長	横尾 友隆 (YOKOO, Tomotaka)	: 中央研究施設日高ランチ実験動物部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
部門員	廣澤 成美 (HIROSAWA, Narumi)	: 中央研究施設機能部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	川野 雅章 (KAWANO, Masaaki)	: 中央研究施設機能部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	水野 由美 (MIZUNO, Yumi)	: 中央研究施設実験動物部門: 講師 (任期: R8.3.31)
	水野 洋介 (MIZUNO, Yosuke)	: 中央研究施設形態部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi)	: 中央研究施設 RI 部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	佐藤 哲也 (SATO, Tetsuya)	: 中央研究施設日高ランチ機能部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	森 隆 (MORI, Takashi)	: 総合医療センター研究部: 教授 (任期: R8.3.31)
	椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio)	: 情報技術支援推進センター: 教授 (任期: R8.3.31)
	横田 和浩 (YOKOTA, Kazuhiro)	: リウマチ膠原病科: 准教授 (任期: R8.3.31)
	小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro)	: 医学研究センター: 毛呂山ランチ長 (任期: R8.3.31)
	長谷川幸清 (HASEGAWA, kosei)	: 医学研究センター: 国際医療センターランチ長 (任期: R8.3.31)
	竹下 享典 (TAKESHITA, Kyosuke)	: 医学研究センター: 総合医療センターランチ長 (任期: R8.3.31)
	下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki)	: 医学研究センター: 保健医療学部ランチ長 (任期: R8.3.31)

◇オブザーバー

佐藤 勝茂 (SATO, Katsushige)	: リサーチアドミニストレーションセンター
甲田 和博 (KODA, Kazuhiro)	: 経理部購買課
大関ひとみ (OOZEKI, Hitomi)	: 経理部経理課
麻原 弘行 (ASAHARA, Hiroyuki)	: 施設部施設管理課
川俣 栄希 (KAWAMATA, Eiki)	: 大学事務部医学部事務室学務課

2. 目的・目標

共同利用施設運営部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規程第9条(4)に則り、全学的視点で研究機器材料等の情報を管理し共同利用実験室を管理・運営することにより、本学の研究を推進することを目的とする。

本年度は、主に研究施設に関する情報を共有し全学的視点で研究力の向上に努めるために、医学研究センターの各ランチ長が共同利用施設運営部門の構成員として参画していただくこととした。原則、毎月メール会議を開催して共同利用施設に関する話し合いを行った。併せて、事務的な情報も共有するためにオブザーバーとして関連部署(RAセンター、購買課、経理課、施設管理課、学務課)の職員にも協力いただくこととした。会議では、全学的に募った設置希望機器リストから、補助金等を利用して新規の機器を導入すると共に、既に設置されている機器の整備に努めた。さらに、対面又はオンラインのテクニカルセミナーを開催し、施設を利用する研究者に対して研究機器の利用を啓発した。併せて、共同利用実験室利用内規を改正し、管理・運用体制を見直した。

3. 活動実績

1) 部門会議

(1) 2025 (R7) 年度 第1回 共同利用施設運営部門会議

日時: 2025 (令和7) 年4月17日 (木)~4月24日 (木): メール会議 出席 15人

議事:

- 共同利用施設運営部門構成員の追加変更を確認した。
- 医学研究センター創立20周年記念誌発行のため、原稿執筆と関連資料の提供が依頼された。

(2) 2025 (R7) 年度 第2回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年5月19日 (月)～5月26日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 「2025 年度研究マインド支援グラント (両学部共通部門)」に、共同利用機器や実験室の予約システム開発・保守を申請したことが報告された。
- b. 共同利用実験室利用内規と関連様式の改定案が示された。

(3) 2025 (R7) 年度 第3回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年6月19日 (木)～6月26日 (木)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 「2025 年度研究マインド支援グラント (両学部共通部門)」に、共同利用機器や実験室の予約システム開発・保守を申請したことが報告された。
- b. 学部学生による医学部中央研究施設の機器利用の手続き等が提案され、承認された。

(4) 2025 (R7) 年度 第4回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年7月8日 (火)～7月11日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省 令和7年度私立学校施設整備費補助金等に係る事業募集において、金額、汎用性、期待される導入後の本学の研究活性度を考慮し、本学が申請する研究装置および研究設備の候補機器を選定した。
 - ・研究装置：Orbitrap Exploris 240 LC-MS/MS を中心としたシステム一式 (Thermo Scientific),
¥102,300,000 - (設置場所：基礎医学棟 3F, 中央研究施設機能部門)
 - ・研究設備：ChemiDoc Touch MP イメージングシステム (バイオラッド),
¥6,700,000 - (設置場所：ゲノム棟 4F, 共同利用実験室)

(5) 2025 (R7) 年度 第5回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年7月16日 (水)～7月22日 (火)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 共同利用施設部門が管理する共同利用実験室の利用内規の改正スケジュールが改めて示された。
- b. 研究マインド支援グラント (共通部門) に共同利用施設運営部門から申請していた「機器予約システム」が採択されたことが報告された。

(6) 2025 (R7) 年度 第6回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年9月23日 (火)～9月29日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第3回部門会議で検討した共同利用実験室に関する規程や規則、細則等の改正が常任理事会と理事会でご承認頂き、12月1日から施行予定であることが報告された。

(7) 2025 (R7) 年度 第7回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年10月8日 (水)～10月17日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 内閣府による「産業連携活動マネジメントに関する調査」への回答案集計を各部署に依頼した。従来、中央研究施設機能部門で一部の器機等について取りまとめていたが、共同利用施設部門が全学的な研究機器に関する議論を行う体制となったことから、今回より本部門で対応することとした。

(8) 2025 (R7) 年度 第8回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年10月21日 (火)～10月27日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第4回共同利用施設運営部門会議において選定した令和7年度私立学校施設整備費補助金等 (装置・設備) に申請した研究装置および研究設備の結果が報告された。
 - ・研究装置：Orbitrap Exploris 240LC-MS/MS を中心としたシステム一式：不採択
 - ・研究設備：ChemiDoc Touch MP イメージングシステム：交付決定

(9) 2025 (R7) 年度 第9回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年11月17日 (月)～11月21日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第29回 医学部中央研究施設部門会議 議事録抜粋が報告された。

(10) 2025 (R7) 年度 第 10 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和 7) 年 12 月 16 日 (火)～12 月 23 日 (火)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 「動物実験の外部検証 令和 8 年度の実施に向けた事前説明会・個別相談会」に、安全管理部門と共同利用施設運営部門から参加する予定であることが報告された。

(11) 2025 (R7) 年度 第 11 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和 7) 年 12 月 25 日 (木)～2026 (令和 8) 年 1 月 8 日 (木) 正午：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省から追加募集された「令和 7 年度私立学校施設整備補助金 (装置・設備)」について、候補装置・設備の推薦を依頼した。

(12) 2025 (R7) 年度 第 12 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2026 (令和 8) 年 1 月 8 日 (木)～2026 (令和 8) 年 1 月 15 日 (木) 正午：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省から追加募集された「令和 7 年度私立学校施設整備補助金 (装置・設備)」について、第 11 回共同利用施設運営部門会議において推薦された候補装置・設備の集計結果一覧を報告した。その上で、全学的な視点から申請するに相応しいと考える機器を挙げるよう依頼した。

(13) 2025 (R7) 年度 第 13 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2026 (令和 8) 年 1 月 19 日 (月)～1 月 26 日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省による「令和 7 年度私立学校施設整備補助金 (装置・設備)」の追加募集について、前回会議で作成した申請候補機器リストを法人に申請候補機器の選定を依頼し、以下の教育基盤設備および研究設備が選定されたことを報告した。
 - ・教育基盤設備：BZ-X1000 シリーズ オールインワン蛍光顕微鏡 (キーエンス)，
¥28,105,000 (基礎医学棟 地下 2 階 組織培養室，中央研究施設形態部門)
 - ・研究設備：SeqStudio 8 Flex ジェネティックアナライザ (サーモフィッシャー)，
¥25,520,000 (ゲノム棟 6 階 共通機器室，中央研究施設日高ランチ機能部門)

(14) 2025 (R7) 年度 第 14 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2026 (令和 8) 年 2 月 18 日 (水)～2 月 24 日 (火)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省の私立学校施設整備補助金応募のため、補助金を利用して令和 8 年度・9 年度に設置を希望する機器・設備のリストが必要なことが説明された。医学研究センターの各ランチ長に対し、各部署の研究装置・研究設備の要望取りまとめが要請された。

(15) 2025 (R7) 年度 第 15 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2026 (令和 8) 年 3 月 20 日 (金)～3 月 23 日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第 14 回部門会議で調査を依頼した、文部科学省の私立学校施設整備補助金を利用して令和 8・9 年度に設置を希望するリストが示された。本部門会議で確認を行い、その結果を購買課へ報告する。
- b. 医学研究センターの改組に伴い共同利用施設運営部門会議は 4 月から新設の研究統括センターにおける研究基盤部門として活動予定となることが報告された。なお、現在の構成員には 4 月以降も引き続き尽力いただきたい旨が併せて依頼された。

2) 共同利用実験室および中央研究施設利用の啓発と整備

共同利用実験室は、研究課題を遂行する環境を持たない教員に対し最小限の機器を備えた実験場所を提供し、もって当該教員の研究活動のセットアップに資することを目的として、平成 24 (2012) 年 9 月 10 日より運用が開始され、現在、基礎医学棟 3 階ならびにゲノム棟 4 階に整備されている。それぞれに実験ベンチや基本機器およびフェローステーションが併設されている。令和 7 (2025) 年度の利用実績は下記の通りであった。

(1) 共同利用実験室

- a. 毛呂山キャンパス：登録基本学科数 7～10 学科／月，利用登録者数 10～16 人／月
- b. 日高キャンパス：登録基本学科数 16～17 学科／月，利用登録者数 41～43 人／月

(2) 中央研究施設

- a. 機能部門：登録基本学科数 47～49 学科／月，利用登録者数 191～194 人／月
- b. 形態部門：登録基本学科数 46 学科／月，利用登録者数 183～188 人／月
- c. 実験動物部門：登録基本学科数 46～47 学科／月，利用登録者数 199～210 人／月
- d. RI 部門：登録基本学科数 8 学科／月，利用登録者数 15～16 人／月
- e. 日高ランチ機能部門：登録基本学科数 36～38 学科／月，利用登録者数 126～138 人／月
- f. 日高ランチ実験動物部門：登録基本学科数 7 学科／月，利用登録者数 24～27 人／月

3) 中央研究施設共同利用研究機器・設備整備

(1) 令和 7 年度 私立学校施設整備費補助金

- a. Bio-Rad: ChemiDoc Touch MP イメージングシステム【医学部 中央研究施設日高ランチ機能部門】

4) テクニカルセミナーの開催

以下のテクニカルセミナーを開催し，機器の取り扱いおよび新しい研究技術を紹介した。

- (1) 2025/7/15 15:00-16:00:
島津製作所 卓上型 MALDI 装置イメージング MS ご活用セミナー
- (2) 2025/7/22 10:00-/11:00-/13:30-/15:00-/16:30-:
キーエンス蛍光顕微鏡“第 5 世代” BZ-X1000 デモ実演会
- (3) 2025/11/17-21 9:00-17:00:
キーエンスオールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X700 個別 WEB 実験相談会
- (4) 2025/11/26 13:00-19:00:
キーエンスオールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X700 個別実機操作説明会
- (5) 2025/11/26 14:00-15:30/18:00-19:30:
Bio-Rad デジタル PCR システム基礎セミナー—Liquid Biopsy セミナー—
- (6) 2026/2/18 13:00-14:00/15:00-16:00/17:00-18:00:
Bio-Rad ChemiDoc Touch MP 操作説明会

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

令和 7 年度は，前年度の改善計画に従い，構成員の見直しを行い，全学的に共同利用施設の情報を共有するための組織の適性化を行った。また，計画通り共同利用実験室利用内規を細則に改正し運営体制の強化，規定集から閲覧可能な状態にした。令和 7 年度の共同利用実験室の登録者数は，両キャンパス合計で毎月 53～59 名と微増した。医学部中央研究施設の毎月の利用登録者は，毛呂山キャンパス（4 部門）が 591～608 名，日高キャンパス（2 部門）が 151～164 名であった。さらに，令和 7 年度は私学助成金 1 件が採択され，Bio-Rad 社 ChemiDoc Touch MP イメージングシステム（医学部中央研究施設日高ランチ機能部門設置）を導入した。令和 7 年度は，合計 6 回のテクニカルセミナーを開催した。

4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

現在，本学の機器・設備の老朽化による不具合が発生しているため，関係部署と連携しながら，補助金の申請等を利用して計画的な研究環境の整備を進める必要がある。機器導入の際には，学内外との共用化にも取り組む準備を進める。

また，次年度は共同利用施設運営部門が所属する医学研究センターを含む研究組織が改組され，研究統括センターとして活動することが予定されている。次年度も，全学的な研究基盤を整備し研究支援を行う体制を強化する。その一環として，共通機器を管理する中央研究施設のコアファシリティ化を推進する。

医学研究センター

安全管理部門

三谷 幸之介
(部門長)

1. 構成員

部門長 三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 医学部ゲノム応用医学: 教授 (任期: R7.3.31)

感染分野

副部門長 村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 医学部微生物学: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 前田卓哉 (MAEDA, Takuya) : 大学病院臨床検査医学: 教授
部門員 堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) : 医学部微生物学: 准教授
部門員 森 隆 (MORI, Takashi) : 総合医療センター研究部: 教授
部門員 光武耕太郎 (MITSUTAKE, Kohtaro) : 国際医療センター感染症科・感染制御科: 教授
部門員 樽本憲人 (TARUMOTO, Norihito) : 大学病院感染症科・感染制御科: 教授
部門員 池田和博 (IKEDA, Kazuhiro) : 医学部ゲノム応用医学: 准教授
部門員 酒井 純 (SAKAI, Jun) : 保健医療学部臨床検査学科: 准教授
部門員 河村 亨 (KAWAMURA, Toru) : 大学病院中央検査部: 課長補佐

薬物・廃液等環境分野

副部門長 奥田晶彦 (OKUDA, Akihiko) : 医学部ゲノム基礎医学: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員 森 隆 (MORI, Takashi) : 総合医療センター研究部: 教授
部門員 三島一彦 (MISHIMA, Kazuhiko) : 国際医療センター脳脊髄腫瘍科: 教授
部門員 山賀 貴 (YAMAGA, Takashi) : 保健医療学部臨床検査学科: 助教
部門員 淡路健雄 (AWAJI, Takeo) : 医学部薬理学: 准教授
部門員 西本正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 中央研究施設日高ランチ RI 部門: 准教授
部門員 齋藤健一 (SAITO, Kenichi) : 総合医療センター薬剤部: 次長
部門員 藤原智徳 (FUJIWARA, Tomonori) : 保健医療学部臨床検査学科: 教授

DNA 分野

部門長 三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 医学部ゲノム応用医学: 教授 (任期: R7.3.31)
副部門長 村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : (任期: R7.3.31)
副部門長 米田竜馬 (YONEDA, Ryoma) : 医学部ゲノム応用医学: 講師 (任期: R7.3.31)
部門員 千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : RA センター: 教授
部門員 森 隆 (MORI, Takashi) : 総合医療センター研究部: 教授
部門員 梶山 浩 (KAJIYAMA, Hiroshi) : 大学病院リウマチ膠原病科: 講師
部門員 藤原智徳 (FUJIWARA, Tomonori) : 保健医療学部臨床検査学科: 教授
部門員 市川朝永 (ICHIKAWA, Tomonaga) : 微生物学: 講師
部門員 菅原哲雄 (SUGAHARA, Tetsuo) : RA センター知財担当: 講師
部門員 柳下 楠 (YAGISHITA, Nan) : 薬理学: 講師
部門員 百瀬修二 (MOMOSE, Syuji) : 総合医療センター病理部: 教授

動物分野

副部門長	森 隆 (MORI, Takashi)	：総合医療センター研究部：教授（任期：R7.3.31）
部 門 員	三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke)	：ゲノム応用医学：教授
部 門 員	藤原智徳 (FUJIWARA, Tomonori)	：保健医療学部臨床検査学科：教授
部 門 員	千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki)	：リサーチアドミニストレーションセンター：教授
部 門 員	中島孔志 (NAKAJIMA, Kohshi)	：保健医療学部 臨床工学科：講師
部 門 員	横尾友隆 (YOKOO, Tomotaka)	：中央研究施設日高ランチ 実験動物部門：准教授
部 門 員	水野由美 (MIZUNO, Yumi)	：中央研究施設実験動物門：講師
部 門 員	堀内 大 (HIRIUCHI, Yutaka)	：微生物学：准教授
部 門 員	佐藤勝茂 (KATSUSHIGE, Sato)	：リサーチアドミニストレーションセンター：課長

RI 分野

副部門長	西本正純 (NISHIMOTO, Masazumi)	：中央研究施設 RI 部門：准教授（任期：R7.3.31）
部 門 員	長谷川幸清 (HASEGAWA, Kosei)	：国際医療センター婦人科腫瘍科：教授
部 門 員	茅野秀一 (KAYANO, Hidekazu)	：保健医療学部臨床検査学科：教授
部 門 員	熊倉嘉貴 (KUMAKURA, Yoshitaka)	：総合医療センター画像診断科・核医学科：客員教授

2. 目的・目標

本部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規程第9条に則り、研究活動に必要な安全管理に関する業務を行う。令和7年度は、前年度の改善計画を踏まえ、以下の3点を重点目標として設定した。

① 組換え DNA 実験安全委員会、RI 実験安全委員会、環境安全委員会、動物実験安全委員会、病原性微生物等管理委員会と協力し、関連規程に則った安全管理を徹底する。② 安全管理部門ホームページの整備・拡充により、研究者への情報提供を強化する。③ 医学部学生への教育訓練を新たに開始し、研究コンプライアンス教育の対象を拡大する。

3. 活動実績

研究活動の専門性を考慮し、本部門は以下の5つの分野で構成され、各分野が連携して活動を行った。

感染分野

病原体等の安全管理のため、病原性微生物等管理委員会のもとで活動した。今年度は、病原体等取扱申請書27件（新規6件、継続21件）、病原体等移動（受入）申請書4件、病原体等分与（譲渡）申請書2件、病原体等取扱（変更・追加）申請書2件が提出され、すべて承認された。また、教育訓練受講証明書を8件発行した。教育訓練として、7月の令和7年度大学院実用実験医学講義にて「バイオセーフティとバイオテロの動向」の講義を実施した。当該年度では医学部2年生に研究室配属（研究入門ユニット）が実施される関係から、学部学生への実験室バイオセーフティに関する教育訓練が新たに開始された。令和7年10月に文部科学省から病原性微生物等または実験室の保有状況（同年10月1日時点）について調査報告の依頼があり、また同時に厚生労働省からもヒト由来検体・下水試料・ポリオウイルス関連試料の保有に関する調査依頼があった。両省からの依頼に対して、委員長ならびにリサーチアドミニストレーションセンターを介して研究主任宛に調査を実施し、その結果を報告した。なお、本学におけるポリオウイルス関連試料の保有はなかった。WHOの「実験室バイオセーフティ指針 第3版および第4版」を参照し、本学の病原体等安全管理規則・リスク評価項目（付表1-2）・実験室の安全設備（付表3）について検討を行った。昨年度からの懸案事項であったヒト細胞株の取扱いとバイオセーフティレベルについて審議を重ね、株化ヒト培養細胞（遺伝子導入細胞株）の取扱いについては、審査条件付きのBSL緩和措置を検討し提案することとした。この措置は本学の現状の研究環境と研究推進のバランスを鑑みたものであり、現在のような段階的な対応方針を維持することはやむを得ない。

薬物・廃液等環境分野

薬物分野として、まず、研究用に用いる麻薬の管理・使用状況を把握するため、令和7年度においても綿密な調査を実施した。研究用の向精神薬の管理・使用について正確に把握することも薬物分野としての重要な任務の一つであり、令和6年度からは、調査に漏れないよう、過去の使用実績にかかわらず研究主任を介して全ての基礎学科を対象に調査することとしたが、令和7年度においても、同様の方法により調査を行った。その他、化学リスクアセスメント対象物質の管理状況の把握にも努めた。また、使用予定のない麻薬および向精神薬を保管している研究者に対し、それぞれの廃棄に必要な手続きおよび廃棄方法について指導・周知した。廃液等環境分野としては、3つのキャンパスそれぞれの担当事務員を介して、危

廃物の廃棄や下水の調査等において問題が生じていないことを確認した。

DNA 分野

遺伝子組換え生物等の使用等に関する審査申請状況は以下のとおりである。第二種拡散防止措置申請書を15件、内容変更を31件承認した。また、実験施設の設置（承認5件）、実験施設の設置変更申請（承認1件）、譲渡（承認1件）を承認し、教育訓練受講証明書（22件）を発行した。大学院博士課程共通科目「実用実験医学特別講義」を6月3日に実施した。8月25日に医学部2年生、26日に医学部1年生に対し、研究（室）配属に備えた研究コンプライアンス教育の一環として組換えDNA実験教育訓練を行った。上記は研究（室）配属にのみ適用され、長期にわたり組換えDNA実験を行う場合には、当委員会が実施している教育訓練動画を視聴したうえで、教育訓練小テストを受けて承認番号を得ることとする。

動物分野

学内の動物実験は、動物実験委員会による計画書の審査・承認を経て実施される。今年度は、動物実験計画書：224件（組換えDNA実験：P1A実験74件、P2A実験9件／感染実験：ABSL1実験5件、ABSL2実験5件／毒物使用実験：15件／RI使用実験：10件）、動物実験中間報告書・自己点検票：200件、動物実験結果報告書・自己点検票：24件、動物実験計画（変更・追加）承認申請書：82件、動物実験（終了・中止）報告書：24件、実験室設置承認申請書：29件を審査・承認した。様式8「動物実験の自己点検票」と様式9「実験動物飼養保管状況の自己点検票」により、令和7年度の動物実験と飼養保管状況の自己点検を実施した。遺伝子組換え生物等を使用した動物実験は、組換えDNA実験安全委員会により第二種使用等拡散防止措置承認申請書の審査・承認が行われた。また、動物実験等に関する情報は、外部から閲覧可能なホームページ（<http://www.saitama-med.ac.jp/about/information/initiatives.html>）で公開している。

RI 分野

RI利用実験および放射線発生装置利用実験は、法律（RI法、労働安全衛生法など）により厳しく規制されている。これらの実験の実施にあたり、研究者の安全管理のためRI安全委員会の設置が規定されており、RI分野はこの委員会と連携して放射線安全管理について討議している。今年度は、これらの実験において利用者に関する特段の問題は発生せず、改善措置を勧告すべき事項はなかった。なお、厚生労働省より、一定の要件を満たすボックス型放射線発生装置では被ばく管理を省略できるとの通達があった。ゲノム棟実験動物部門内の動物用CT装置が、この要件を満たすボックス型放射線発生装置に該当すると考えられたため、RI分野部門員との意見集約後、全学RI安全委員会にその旨を諮った。「ゲノム棟実験動物部門内の動物用CT装置は、被ばく管理を省略可能なボックス型装置に該当する」との結論を得て、令和8年度より利用者の被ばく線量測定および健康診断は省略することとなった。また、今後埼玉医科大学に「一定の要件を満たすボックス型放射線発生装置」が納入される際には、同様の対応をとることとなった。ただし、労働基準監督署への届出は必要であり、その際に全学RI安全委員会から助言を行うことも了承された。

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

2. に掲げた重点目標に対する達成状況を以下に示す。

- ①各分野において、委員会との連携を含め、各キャンパス（または研究施設）で適切な審査・承認業務を遂行した。必要に応じて各分野間で情報共有・連携を図り、本学における研究の安全管理を推進した。目標はおおむね達成できたと評価する。ただし、ヒト細胞株のバイオセーフティレベルの取扱いについては審議継続中であり、引き続き対応が必要である。
- ②安全管理部門ホームページに研究倫理関連情報を集約し、新たに赴任した研究主任や研究者が研究開始時に必要な情報を効率的に入手できる環境を整備した。目標を達成した。一方、掲載情報の継続的な更新・充実が今後の課題として残る。
- ③学部学生への教育訓練の拡大として、医学部2年生を対象とした実験室バイオセーフティ教育（感染分野）および組換えDNA実験教育訓練（DNA分野）を新たに開始した。目標を達成した。ただし、研究（室）配属以外の場面での継続的な教育体制の構築が今後の課題である。

4-2. 今年度の事故点検・評価結果に基づく改善計画

令和8年度の研究組織の改組・統合により、医学研究センター安全管理部門は、研究統括センター研究公正部門（安全管理）として活動することになる。上記の評価結果を踏まえ、令和8年度は以下の取り組みを実施する。

- ①今年度審議継続中となったヒト細胞株（遺伝子導入細胞株）のBSL緩和措置について、令和8年度前半を目途に審査条

件を確定し、学内に周知する。

- ②安全管理部門ホームページの改訂を定期的に行い、法令・規程の改正情報や各種申請手続きに関する最新情報を迅速に提供する。これにより、研究活動に伴う安全管理に関する理解を深めるとともに、各種申請の適切な提出を徹底する。
- ③令和7年度に新設した学部学生向け教育訓練を継続するとともに、研究（室）配属以外の学生も含めた教育機会の拡大を検討する。
- ④各分野は関連情報を継続的に収集し、必要に応じて本学の規程・規則や管理手順を改正する。特に、RI分野においては令和8年度から適用されるボックス型放射線発生装置の被ばく管理省略措置について、運用手順を明確化する。
- ⑤研究統括センター各部門と連携し、研究の安全管理業務を一層効率的に推進する。

医学研究センター

フェローシップ部門

三輪 尚史
(部門長)

1. 構成員

部門長 三輪尚史 (MIWA, Naofumi) : 生理学: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 淡路健雄 (AWAJI, Takeo) : 薬理学: 准教授 (任期: R8.3.31)
部門員 井上 勉 (INOUE, Tsutomu) : 大学病院腎臓内科: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 栗田浩樹 (KURITA, Hiroki) : 国際医療センター脳神経外科: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 山下高生 (YAMASHITA, Takao) : 保健医療学部・臨床工学科: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 高田 綾 (TAKADA, Aya) : 法医学: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 海田賢一 (KAIDA, Kenichi) : 総合医療センター脳神経内科: 教授 (任期: R8.3.31)
部門員 村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 微生物学: 教授 (任期: R8.3.31)

2. 目的・目標

本部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規定第9条(4)に則り、大学院医学研究科委員会、および医学教育センターと連携のもと、教員以外の研究者の経済的・身分的支援について協議し答申することを活動の中心とする。本目的のために、大学院、リサーチフェロー、および学外からのフェローシップに関与する。

今年度は、「2025年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」受給者の確認と、「2026年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」の応募と選考、およびその結果を医学研究センター運営会議に上程することを目標として活動した。

3. 活動実績

1) 部門会議

随時、メール会議を開き、迅速に対応した。

(1) 第1回部門会議 (令和7年4月18日(金)～令和7年4月30日(水): メール会議) 出席8人 欠席0人
オブザーバー (片桐医学研究センター長、庶務課)

議事: (a) 「令和6年度大学年報および埼玉医大雑誌の原稿の確認」について (議事録有, 運営会議報告)

(b) 「研究センター20周年誌の原稿の確認」について (議事録有, 運営会議報告)

(c) 「2025(R7)年度の私費外国人留学生奨学金の募集要項案(日本語と英語版)」について
(議事録有, 運営会議報告)

(2) 第2回部門会議 (令和7年9月18日(木)～令和7年9月26日(金): メール会議) 出席8人 欠席0人
オブザーバー (片桐医学研究センター長、庶務課)

議事: 「2025(R7)年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金応募者の確認・選考」について
(議事録有, 運営会議報告)

(3) 第3回部門会議 (令和7年10月16日(木)～令和7年10月23日(木): メール会議) 出席8人 欠席0人
オブザーバー (片桐医学研究センター長、庶務課)

議事: 「私費外国人留学生等奨学金の条件付き支給者候補者の順位づけ」について (議事録有, 運営会議報告)

(4) 第4回部門会議 (令和7年12月4日(木)～令和7年12月11日(木): メール会議) 出席8人 欠席0人
オブザーバー (片桐医学研究センター長、庶務課)

議事: 「2026(R8)年度事業計画と予算の審議」について (議事録有, 運営会議報告)

2) 埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金の募集・選考について

「2026年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」を、2025(R7)年9月1日(月)から9月11日(木)に募集した。期間中に応募があった2名(新規応募: 外国人2名)の資格確認と選考を行った。応募者2名とも、まだ入国されておられ

ないため、在留カード等はなかった。2026年3月末に入国し4月より入学予定だった。以上より、入国後に必要書類の届けを確認した後、受給候補者としてすることとした。また、支給対象者が規定上限の4名に達しないため、2025（R7）年10月1日（水）から10日（金）に追加募集を行ったが、応募者はいなかった。

以上の結果について、令和7年11月の医学研究センター運営会議に答申した。

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

前年度の改善計画に基づき、令和7年度も、「埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」を募集し、厳正・公平な審査を行った。

4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

今年度も、「埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」応募者を厳格に審査し、本奨学金が有効に利用できた。来年度も引き続きこの体制が維持されるよう、早期に募集の準備を整えて厳格な審査を行う。

医学研究センター

研究評価部門

椎橋 実智男
(部門長)

1. 構成員

部門長 椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : IRセンター：教授（任期：R8.3.31）
副部門長 徳元 康人 (TOKUMOTO, Yasuhito) : アドミッションセンター：講師（任期：R8.3.31）
部門員 別所 和博 (BESSHO, Kazuhiro) : 医学研究センター：助教
新井 菜緒 (ARAI, Nao) : 大学事務部：事務員

2. 目的・目標

本部門は、埼玉医科大学医学研究センター規程第8条に則り、種々の研究評価を行うための研究業績データを集積し、提供する、学外からの人的経済的資源の確保をめざした広報活動を行う、ことを目的としている。

3. 活動実績

○研究業績データベース

- ・保健医療学部教員に対する利用説明会の開催（4月）
- ・中央研究施設を利用した研究成果のデータの提出（7月）
- ・人事考課のための研究業績データダウンロードへの対応（7月）
- ・大学病院への研究業績の提出（特定機能病院）（8月）
- ・国際医療センターへの研究業績の提出（JCI）（8月）
- ・Researchmap とのデータ交換（4月から3月まで原則毎月実施）
- ・私立単科大学10大学との研究力の比較の実施

○医学研究センターホームページ

- ・研究費公募関連情報の掲載
- ・埼玉医科大学雑誌（電子版）の掲載
- ・その他関連情報の更新

○研究活動実績登録システム

- ・データの集積、登録、分析
- ・人事考課における研究活動実績（研究ポイント）の運用

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

研究業績データベースの利用は徐々に定着してきており、部門の目標とする活動とその成果は達成できたものと自己評価している。今年度は、私立単科大学10大学との研究力の比較を実施し、各種委員会等に報告するとともに学内ホームページで公開した。

4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

IRセンターと連携した研究活動の質保証、利用率の低い臨床の助教の利用拡大にむけて努力を続ける。大学病院の機能強化に向け、研究業績データベースをカスタマイズし、研究業績に加え専門医資格などについても登録・管理できるようにする。

医学研究センター

医学研究センター運営会議

片桐 岳信
(議長)

1. 構成員

- ◇議長 (医学研究センター運営会議規則第3条1号構成員)
 - 片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : センター長 (任期: R9.7.31)
- ◇副センター長 (医学研究センター運営会議規則第3条1号構成員)
 - 小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 副センター長 (任期: R9.7.31)
- ◇部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)
 - ※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 研究主任部門 (任期: R8.3.31)
 - ※片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : 共同利用施設運営部門 (任期: R8.3.31)
 - 堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) : 研究支援管理部門 (任期: R8.3.31)
 - 三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (任期: R8.3.31)
 - 三輪 尚史 (MIWA, Naofumi) : フェローシップ部門 (任期: R8.3.31)
 - 椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : 研究評価部門 (任期: R8.3.31)
- ◇副部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)
 - 百瀬 修二 (MOMOSE, Shuji) : 研究主任部門 (任期: R8.3.31)
 - 下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 研究主任部門 (任期: R8.3.31)
 - 横田 和浩 (YOKOTA, Kazuhiro) : 研究主任部門 (任期: R8.3.31)
 - 横尾 友隆 (YOKOO, Tomotaka) : 共同利用施設運営部門 (任期: R8.3.31)
 - ※三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (DNA 分野) (任期: R8.3.31)
 - 米田 竜馬 (YONEDA, Ryoma) : 安全管理部門 (DNA 分野) (任期: R8.3.31)
 - 村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 安全管理部門 (感染分野) (任期: R8.3.31)
 - 奥田 晶彦 (OKUDA, Akihiko) : 安全管理部門 (薬物・廃液等環境分野) (任期: R8.3.31)
 - 森 隆 (MORI, Takashi) : 安全管理部門 (動物分野) (任期: R8.3.31)
 - 西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 安全管理部門 (RI 分野) (任期: R8.3.31)
 - 徳元 康人 (TOKUMOTO, Yasuto) : 研究評価部門 (任期: R8.3.31)
- ◇ランチ長 (医学研究センター運営会議規則第3条3号構成員)
 - ※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 毛呂山ランチ担当 (任期: R8.3.31)
 - 竹下 享典 (TAKESHITA, Kyousuke) : 総合医療センターランチ担当 (任期: R8.3.31)
 - 長谷川幸清 (HASEGAWA, Kosei) : 国際医療センターランチ担当 (任期: R8.3.31)
 - ※下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 保健医療学部ランチ担当 (任期: R8.3.31)
 - ※は重複構成員…計 18 名
- ◇オブザーバー
 - 竹内 勤 (TAKEUCHI, Tsutomu) : 学長
 - 森 茂久 (MORI, Shigehisa) : 副学長, 医学部長
 - 高橋 健夫 (TAKAHASHI, Takeo) : 副学長
 - 千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : リサーチアドミニストレーションセンター センター長
 - 小野 弥子 (ONO, Yasuko) : リサーチアドミニストレーションセンター 特任准教授 (R7.7.1 着任)
 - 菅原 哲雄 (SUGAHARA, Tetsuo) : リサーチアドミニストレーションセンター 講師
 - 佐藤 勝茂 (SATO, Katsushige) : リサーチアドミニストレーションセンター 課長
 - 別所 和博 (BESSHO, Kazuhiro) : 医学研究センター 助教
 - 福田枝里子 (FUKUDA, Eriko) : 医学研究センター 助手

◇事務局

下田 裕子 (SHIMODA, Yuko) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課 課長

佐藤 瀬奈 (SATO, Sena) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課

2. 目的・目標

医学研究センター運営会議は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター運営会議規則第1条に則り、医学研究センターの円滑な運営に資することを目的として、平成17年11月に設置された。医学研究センターは、本学の研究活動を全学的に支援する組織であり、研究体制、研究場所、研究費、安全管理等に関する仕組みを整備し、企画、運用、管理している。医学研究センター運営会議は、これらの実効正当について審議し、医学部教員代表者会議、保健医療学部教授会へ上程する責務を担う。令和7年度の医学研究センター運営会議は、片桐センター長を議長として、6つの部門の各部門長、副部門長、および4つのランチ長と、総勢18名で構成される。

毎月（8月を除く）の運営会議を開催し、全学的な研究活動の向上と研究成果の社会への還元を目指す医学研究センターの活動を議論し、その内容を教員代表者会議と保健医療学部教授会に上程する。

3. 活動実績

◇定期開催

- 第215回：4月4日（金）Zoom会議 出席者16名（委任状2名）
- 第216回：5月9日（金）Zoom会議 出席者16名（委任状2名）
- 第217回：6月6日（金）Zoom会議 出席者16名（委任状2名）
- 第218回：7月4日（金）Zoom会議 出席者15名（委任状2名、欠席1名）
- 第219回：9月12日（金）Zoom会議 出席者17名（委任状1名）
- 第220回：10月3日（金）Zoom会議 出席者16名（委任状2名）
- 第221回：11月7日（金）Zoom会議 出席者14名（委任状4名）
- 第222回：12月5日（金）Zoom会議 出席者13名（委任状4名、欠席1名）
- 第223回：1月9日（金）Zoom会議 出席者17名（委任状1名）
- 第224回：2月6日（金）Zoom会議 出席者17名（委任状1名）
- 第225回：3月6日（金）Zoom会議 出席者17名（委任状1名）

◇開催回数

定期開催：11回 出席者平均 16名（委任状平均2名）

◇議事内容

本会議では、センター長からの報告、各部門や関連する委員会からの報告と審議、研究センター組織内の人事に係る報告等、大学における研究の基本的方向性やあり方に関する議論を行う場として機能している。すなわち、議事は以下に示すような形態を原則として進行する。

1. 医学研究センター長報告
2. 各部門報告
 - ①研究主任部門
 - ②共同利用施設運営部門
 - ③研究支援管理部門
 - ④安全管理部門
 - ⑤フェローシップ部門
 - ⑥研究評価部門
3. 各ランチ報告
 - ①毛呂山ランチ
 - ②総合医療センターランチ
 - ③国際医療センターランチ
 - ④保健医療学部ランチ
4. その他報告

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

令和7年度も、医学研究センター運営会議をZoomを用いたオンライン会議として開催した。毎回の医学研究センター運営会議における報告と審議は恙なく行われ、その議事録を作成して毎月の教員代表者会議と保健医療学部教授会に上程された。前年度の改善計画に基づき、研究主任メーリングリストの管理法と連絡体制を再検討し、更新したメーリングリストを用いて議事要約を研究主任部門から各基本学科へ配信し、全学的な研究関連情報の周知に務めた。さらに、毎回の運営会議議事録を医学研究センター学内HPに掲示した。

4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

次年度は、研究組織の大幅な改組が予定されており、医学研究センターとリサーチアドミニストレーションセンター、および、研究統合推進センターが1つの研究統括センターとなる。これに伴い、従来の医学研究センター運営会議は、研究統括センター運営会議の一部として開催される予定である。研究統括センター運営会議においても議事録を作成し、毎月の教員代表者会議と保健医療学部教授会に上程する。これにより、本学において研究に関する最上位の研究戦略会議と連携しながら、研究公正と研究推進、および、その他の事項を含め全学的な研究に関する運営会議としての役割を果たすよう努める。

医学研究センター

グラント選考委員会

片桐 岳信
(委員長)

1. 構成員

委員長

片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : 医学研究セ長 : ゲノム基礎医学 : 教授 (任期 : R9.3.31)

委 員

森 茂久 (MORI, Shigehisa) : 医学部長 : 教授 (任期 : R9.3.31)
茅野 秀一 (KAYANO, Hidekazu) : 保健医療学部長 : 教授 (任期 : R9.3.31)
篠塚 望 (SHINOZUKA, Nozomi) : 大学病院長 : 消化器・一般外科 : 教授 (任期 : R9.3.31)
別宮 好文 (BEKKU, Yoshifumi) : 総合医療セ病院長 : 教授 (任期 : R9.3.31)
佐伯 俊昭 (SAEKI, Toshiaki) : 国際医療セ病院長 : 教授 (任期 : R9.3.31)
小山 政史 (OYAMA, Masafumi) : 副医学部長 : 国医セ泌尿器 : 教授 (任期 : R9.3.31)
門野 夕峰 (KADONO, Yuuho) : 整形外科学 : 教授 (任期 : R9.3.31)
秋岡 祐子 (AKIOKA, Yuko) : 小児科 : 教授 (任期 : R9.3.31)
石田 秀行 (ISHIDA, Hideyuki) : 総合医療セ消化器一般外科 : 教授 (任期 : R9.3.31)
前嶋 明人 (MAEJIMA, Akihito) : 総合医療セ腎高血圧内科 : 教授 (任期 : R9.3.31)
解良 恭一 (KAIRA, Kyoichi) : 国際医療セ呼吸器病センター : 教授 (任期 : R9.3.31)
奥田 晶彦 (OKUDA, Akihiko) : ゲノム基礎医学 : 教授 (任期 : R9.3.31)
堀江公仁子 (HORIE, Kuniko) : ゲノム応用医学 : 教授 (任期 : R9.3.31)
山田 健人 (YAMADA, Taketo) : 病理学 : 教授 (任期 : R9.3.31)
村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 微生物学 : 教授 (任期 : R9.3.31)
大洞 将嗣 (OHORA, Masatsugu) : 免疫学 : 教授 (任期 : R9.3.31)
千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : RA セ長 : 教授 (任期 : R9.3.31)
小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 薬理学 : 教授 (任期 : R9.3.31)

オブザーバー

別所 正美 (BESSHO, Masami) : 副理事長 : 特任教授 (任期 : R9.3.31)
竹内 勤 (TAKEUCHI, Tsutomu) : 学長 : 特任教授 (任期 : R9.3.31)
内田 和利 (UCHIDA, Kazutoshi) : 事務局長 (任期 : R9.3.31)
馬場 賢治 (BABA, Kenji) : 経理部副部長 (任期 : R9.3.31)

事務担当者

堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) : 微生物学 : 准教授 (任期 : R9.3.31)
下田 裕子 (SHIMODA, Yuko) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課 課長
佐藤 瀬奈 (SATO, Sena) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課

2. 目的・目標

グラント選考委員会は、「埼玉医科大学補助金関連共同研究規則」第1条に定める「研究経費の補助を国庫補助金等から得て、本学の研究活動の活性化、および円滑化を図り、もって本学の研究に発展する」目的を達成するため、同規則第5条に基づいて設置された委員会である。本委員会は、共同研究等審査委員会を引継ぎ、平成18年7月の教員代表者会議で承認され、同年8月発足した。グラント選考委員会は、医学研究センター研究支援管理部門と連携し、「学内グラント」、「財団等から募集される科学研究費を除く研究助成金」、および「私立大学高度化推進特別補助の学外グラント」に対し、学内選考を行うことを目的とする。

本年度も、「2025年度学内グラント」、「2025(R7)年度研究マインド支援グラント(両学部における共通部門)」、「2025(R7)年度研究マインド支援グラント(医学部基礎若手限定)」の募集と選考、「2024(R6)年度研究マインド育成のための

教育プログラム実施助成金」の選考，「2025（R7）年度 研究マインド育成のための教育プログラム実施助成金」の募集，埼玉大学との共同研究に関する選考，及び財団等が募集する研究助成金等への応募に関する学内選考を行うこととした。

3. 活動実績

1) 学内グラント選考委員会（2025 年 4 月 23 日）

於：毛呂山キャンパス本部棟 2 階会議室，出席 22 人（委任状出席 13 人含む），欠席 3 人

議事：2025 年度学内グラントの選考

丸木記念特別賞と科研費申請支援を募集・選考した。さらに，学内グラント採択課題（一般枠・科研費申請支援）が翌年，翌々年度に科研費に採択の場合に追加助成される奨励研究費（20 万円）の対象者を決定した。

応募・審査結果

応募数：26 件（採択数 22 件）（総額 17,350,000 円）

(1) 丸木記念特別賞：応募数 4 件（採択数 2 件：助成期間：2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日）

100 万円×2 件（合計 2,000,000 円）

(2) 科研費採択奨励費：0 件

(3) 科研費申請支援グラント：応募数 22 件（採択数 20 件：助成期間：2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日）

80 万円×17 件（合計 13,600,000 円）

60 万円×2 件（合計 1,200,000 円）

55 万円×1 件（合計 550,000 円）

2) 研究マインド支援グラント

(1) 2025（R7）年度 両学部における共通部門

応募件数 5 件，メール会議（2025 年 5 月 15 日～5 月 21 日），採択 3 件，条件付き採択 2 件（総額 13,275,080 円）

(2) 2024（R6）年度 研究マインド育成のための教育プログラム実施助成金

応募件数 24 件，メール会議（2025 年 5 月 15 日～5 月 21 日），採択 24 件（総額 5,286,417 円）

・通年プログラム：応募件数 18 件，採択 18 件，（合計 4,807,746 円）

・夏期・春期プログラム：応募件数 5 件，採択 5 件，（合計 429,041 円）

・夏期プログラム（見学型）：応募件数 1 件，採択 1 件，（合計 49,630 円）

(3) 2025（R7）年度 研究マインド育成のための教育プログラム実施助成金の募集開始

(4) 2025（R7）年度 医学部若手限定

応募件数 1 件，メール会議（2025 年 5 月 15 日～5 月 21 日），採択 1 件（総額 500,000 円）

3) 埼玉大学との共同研究支援グラントに関する選考

(1) 2025（R7）年度 申請

・新規：13 件

・2 年目継続：4 件

・3 年目継続：7 件

審査員 3 名による一次審査（2025 年 7 月 1 日～7 月 31 日）を行い，その採点結果を基に埼玉大学との合同審査を経て，24 件を採択した（総額 13,990,000 円）。

4) 財団等の研究助成に関する学内選考

(1) 日本私立学校振興・共済事業団「学術研究振興資金」

応募者数 2 名，メール会議（2025 年 7 月 18 日～7 月 23 日），推薦 1 名

(2) 公益財団法人 上原記念生命科学財団「2025 年度 海外留学助成金 I」

応募者数 2 名，メール会議（2025 年 8 月 21 日～8 月 25 日），推薦 1 名

(3) 公益財団法人 川野小児医学奨学財団「2026（令和 8）年度 研究助成【一般枠】」

応募者数 2 名，メール会議（2025 年 11 月 4 日～11 月 6 日），推薦 1 名

(4) 公益財団法人 川野小児医学奨学財団「2026（令和 8）年度 研究助成【若手枠】」

応募者数 2 名，メール会議（2025 年 11 月 4 日～11 月 6 日），推薦 1 名

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

今年度も，計画通り各グラントの選考を行うことができた。

学内グラントに関して，「丸木記念特別賞」は「長年に渡る，複数の業績に裏付けられたストーリー性を持つ研究テーマ」

で、かつ「その主要な成果が本学における研究活動で得られたもの」を対象とする。これらに重点を置いた選考を行った結果、本年度も2課題に授与することとした。学内グラント「科研費申請支援」は、科研費不採択課題の中で、本学を研究機関として科研費採択を目指す課題を対象とする。科研費アドバイザーによる学内グラントとしての適否評価を基に、17件をA評価、3件をB評価として採択した。学内グラント「科研費採択奨励費」は、過去2年以内に学内グラント「科研費申請支援」の助成を受けて科研費に採択された課題は申請0件であった。

今年度は「埼玉医科大学創立50周年記念特別研究費」の最終年度（3年間）となった。そこで、2025年11月7日（金）にカトロスタワー クロード・ベルナルホールにおいて4課題の成果発表会を開催した。この発表会は、医学研究センター創立20周年記念シンポジウムと共同開催で行われた。

埼玉大学との共同研究は、3年間継続して支援を受けた7課題が研究満了となった。令和8年2月22日に、本学において埼玉大学との共同研究成果発表会をハイブリッド形式で開催し、両大学の研究者だけでなく、一般の方にも公開した。

この他、財団等への応募に関する学内選考3件を行った。いずれの選考も、厳格に審査された。

4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

次年度も、学内外の研究費を獲得して本学の研究活動を活性化するため、グラントの厳格・公平な選考が継続されるよう務める。次年度は研究体制の大幅な改組が予定されており、医学研究センターとリサーチアドミニストレーションセンターが新たな研究統括センターとなり、その事務を大学事務部研究支援室が担当予定である。グラント選考委員会は、研究統括センターの研究推進部門の中に位置づけられる予定である。新たな体制に切れ目なく移行できるよう、医学研究センター研究支援管理部門、庶務課、リサーチアドミニストレーションセンター等と連携しながらグラントの選考を行う。

令和8年度の埼玉大学と本学の共同研究成果発表会は、埼玉大学において開催予定である。引き続き、両大学間で活発な共同研究が行われるよう支援する。